

おすすめ！日本の子どもの本

Japanese Children's Books

— JBBY 選 海外にも紹介したい子どもの本 —



2018

JBBY

表紙画

『あさがお』（荒井真紀 作、金の星社）より

荒井真紀

1965年東京生まれ。熊田千佳慕に細密画を学ぶ。『たんぼぼ』（金の星社）で2017年ブラティスラヴァ世界絵本原画展（BIB）金のりんご賞受賞。ほかに『あずき』（福音館書店）『チュールリップ』（小学館）など。

おすすめ！ 日本の子どもの本 Japanese Children's Books

—— JBBY 選 海外にも紹介したい子どもの本 ——

2018

もくじ

- 4 | はじめに
- 5 | 絵本（2016年以降の29冊）
- 9 | 読みもの（2016年以降の23冊）
- 13 | ノンフィクション（2016年以降の29冊）
- 18 | キーワード索引
- 20 | 資料：国際アンデルセン賞受賞者と候補者
- 22 | 資料：日本のIBBYオナーリスト
- 23 | 選書・執筆チーム紹介

はじめに

JBBYとは

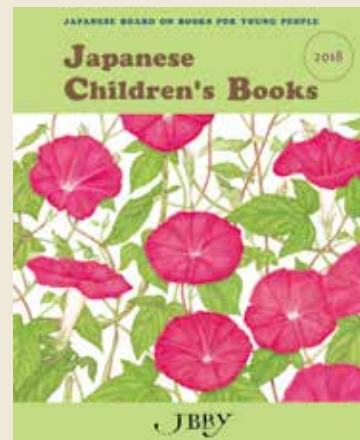
JBBY（日本国際児童図書評議会）は、IBBY（国際児童図書評議会）の日本支部として、1974年に創設されました。IBBYは、子どもたちが生きやすい平和な未来を築くため、子どもの本を通してさまざまな国や地域との相互理解を深めようという国際ネットワークで、現在76の国と地域が加盟しています。主な活動としては、「子どもの本の世界大会」の開催、「国際アンデルセン賞」や「IBBY朝日国際児童図書普及賞」などの贈賞、災害や戦争などの不安定な状況下にある子どもを本で支援するための「チルドレン・イン・クライシス基金」の提供などを行っています。

JBBYは、子どもの本を通して日本と世界の間を橋を架ける活動を行っています。その一環として日本国内で「世界の子どもの本展」「世界のバリアフリー児童図書展」などを主催し、IBBYのネットワークで世界中から集めたすぐれた児童書を日本の読者に見ていただき、またその情報も提供しています。それと同時に、たとえば国際的な賞などに日本の作家や画家を推薦したり作品を出展したりすることにより、日本の子どもの本に関する情報を世界に発信する活動も行っています。

2015年度からは毎年、海外に紹介したい日本の子どもの本約100点を英文で紹介する*Japanese Children's Books*も発行しています。ここに掲載されている図書は、JBBY会員の専門家が厳正な協議・検討を重ねたうえで選出しました。英語で読める日本の子どもの本の情報がこれまでは非常に少なかったことから、海外のブックフェアや国際会議、大使館や図書館などで役立てていただき、ささやかながら国際親善にも貢献しています。JBBYとしては、日本児童教育振興財団のご協力による継続的な発行が、海外の出版社の関心を集め、翻訳出版の増加につながるのではないかと期待しています。

このブックリストについて

このブックリストは、上記の*Japanese Children's Books*の日本語版です。日本語でも読みたいという声が多く寄せられたことから、日本のみなさまにも情報をお伝えしようと思い、出版が実現しました。ちなみに、ここには日本でオリジナルが出版された本のみを取り上げていますので、翻訳出版の児童書は含まれていません。2018年版は、2016年以降に出版された海外にも紹介したい児童書を（1）絵本（2）読みもの（3）ノンフィクションの категорияに分け、それぞれ対象年齢の低い順に掲載してあります。出版社の表示とは異なる対象年齢が表示されている場合もありますが、ご了承ください。巻末には資料として、歴代の「国際アンデルセン賞」日本人受賞者と日本から推薦した候補者、およびIBBYオーナーリストに選出された図書を掲載しました。



英語版カタログ表紙

2018年3月

JBBY 会長 さくまゆみこ

選書・執筆チーム紹介



さくまゆみこ

翻訳家、編集者、前青山学院女子短期大学教授。アフリカ子どもの本プロジェクト（JACBOP）代表。出版社勤務の後、子どもの本の翻訳を始め、訳書は250冊を越える。「クロニクル千古の闇」シリーズ（ペイヴァー作、評論社）『はみだしインディアンのホントにホントの物語』（アレクシー作、小学館）など。『マディソン通りの少女たち』（ウッドソン作、ポプラ社）で2002年IBBY オナーリスト・翻訳部門に選出された。JBBY 会長。



野上 暁（のがみあきら）

本名・上野明雄。小学館に勤務し、『小学一年生』編集長、児童図書担当部長、取締役、小学館クリエイティブ代表取締役社長を歴任。白百合女子大学児童文化学科、東京成徳大学子ども学部などで教鞭をとる。主著に『日本児童文学の現代へ』（パロル舎）『越境する児童文学』（長崎出版）『子ども文化の現代史』（大月書店）、編著に『わたしが子どものころ戦争があった』（理論社）など。日本ペンクラブ常務理事。JBBY 副会長。



代田知子（しろたとこ）

埼玉県三芳町立図書館長。公立図書館司書として、長く児童サービスを担当。読み聞かせ、ブックトーク、ブックスタート等の実践を通して子どもの本の普及・研究に努める。各地で図書館員や保育士向けの研修会講師を務め、後進の育成にも力を注いでいる。著書に、『読み聞かせわくわくハンドブック』、共著に『えほん 子どものための300冊』（ともに一声社）など。JBBY 理事。



広松由希子（ひろまつゆきこ）

絵本の作家、評論家、キュレーター。元ちひろ美術館学芸部長。主な著書に『きょうの絵本あしたの絵本』（文化出版局）「いまむかしえほん」シリーズ（全11巻、岩崎書店）など。『はしれ、トト!』（文化出版局）で日本絵本賞翻訳絵本賞を受賞。ポローニャ展や韓国ナミコンクールなど海外での審査員経験も多く、2017年には、ブラティスラヴァ世界絵本原画展（BIB）において、日本人初の審査委員長を務めた。JBBY 理事。



土居安子（どいやすこ）

大阪国際児童文学振興財団（IICLO）理事・総括専門員。読書活動や日本児童文学史に関する研究を行うと同時に、教員、司書等に対し、読書活動にかかわる研修や、国内外の児童文学作家の講演会やシンポジウムの企画等を行っている。共編著書に『子どもの本100問100答』（創元社）などがある。日本人として四半世紀ぶりに、2018年国際アンデルセン賞の国際選考委員に選出された。元JBBY 理事。

おすすめ！日本の子どもの本

Japanese Children's Books

—— JBBY 選 海外にも紹介したい子どもの本 ——

2018

一般社団法人 日本国際児童図書評議会

発行日：2019年2月20日 2刷

発行人：さくまゆみこ

選書・執筆：さくまゆみこ、代田知子、土居安子、野上暁、広松由希子

協力：澤田精一

表紙画：荒井真紀

協力：一般財団法人 日本児童教育振興財団

一般社団法人日本国際児童図書評議会（JBBY）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

TEL: 03 6273 7703 FAX: 03 6273 7708

E-mail: info@jbby.org

<http://www.jbby.org/>

© JBBY, 2019

